

ICT人材育成と創業支援による地域活性化(沖縄市、スタートアップコンソーシアム沖縄)

プログラミング教育と創業支援が生み出した高度ICT人材と雇用

(スタートアップカフェコザをグローバルハブとした地方創生プロジェクト)

【沖縄市の課題】

- ・中心市街地に空き店舗が増加
- ・高等教育機関が少なく、人材育成機会が不足
- ・沖縄県内でも高い失業率(特に若年者)、低所得の状況
- ・既存の業態だけでは雇用ミスマッチの解消やキャリアアップが難しい

創業・起業総合支援事業を開始

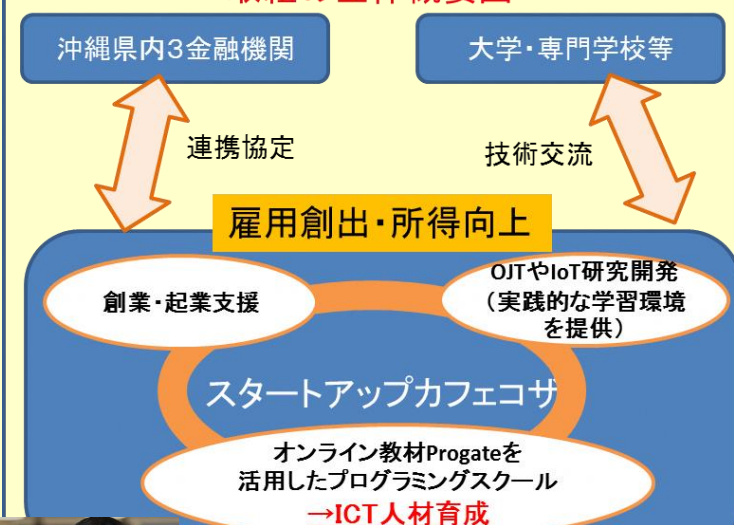
【課題解決のアプローチ】

- ・中心街市街地に「スタートアップカフェコザ」を開設、①ワンストップ相談窓口、②先端ICT人材育成、③ニアショア拠点形成などの事業を実施
- ・プログラミングスクールでは、低価格のオンラインプログラミング学習教材「Progate」を導入。講義外でもクラウドで学習が続けやすいことから社会人やひとり親、学生でも個別の進捗に合わせた学習が可能。
- ・OJTや大学等と連携したIoT研究開発事業等も行い、スクールカリキュラムと組み合わせることで、実践的な学習環境をスクール生などに提供。
- ・金融機関と連携した資金調達支援、投資育成講座等により、スクール生などの創業を支援。

プログラミング教育でICT人材、雇用を創出し所得向上

- ・年間約18,000人、月約1,600人の利用(これまでの商店街来場者層とは違う層)
- ・プログラミングスクール受講生 延べ人数約200名
- ・学んだプログラミングスキル等を活用した創業支援者数(フリーランスとして独立も含む)は27名以上、転職21名以上
- ・卒業生は、転職・昇進等も含め所得増を実現(例:受講前の年収180万円→卒業後300万円)
- ・同カフェ開設以来、周辺商店街では人の往来が増え、飲食店などが10軒以上増加
- ・市の他分野施策との連携による効果も出てきており、今後は近隣市町村との展開も予定している

取組の全体概要図



卒業生



スクール風景



開発サービスの発表